



言語活動の充実 と家庭科



～思考力・判断力・表現力等の育成～

家庭科を通して物の見方や考え方をどのように教えていくのか

● DO! 活動 DO! 活動 の設定の意図

東京書籍の教科書では、問題解決的な学習を促すために、だれもが課題意識をもつことができる「DO!活動」を設定しています。

「DO!活動」では話し合い活動やメモなど言語活動にかかわることがたくさんできます。言語活動をすることだけが目的ではなく、家庭科の学習目標を達成しながら、言語活動を通して思考力・判断力・表現力を育てることが大切です。

●物の見方・考え方を計画的に教える

思考力・判断力・表現力を育てるそのためには、物の見方や考え方を教えていく必要があります。

それぞれのステップの「DO!活動」は、家庭科の学習目標を達成しながら、計画的に物の見方や考え方が教えられるように、内容を工夫しています。

(活動例)

ステップ1
見つめよう

DO! 活動2

学級の^{ともだち}の友達は、主食に何を食べているでしょうか。調べて表に書きましょう。

具体的な例を

比較したり, 分類したりする

言語活動が中心。

ステップ2
計画しよう・活動しよう

DO! 活動4

食事をしないと、体はどのようになってしまうでしょうか。食事をする理由を考えましょう。

調べる・考える活動を通して学習内容を

分析・統合する

言語活動が中心。

思考・判断力が育つ。

ステップ3
生活に生かそう・新しい課題を見つけよう

DO! 活動7

わが家のみそ汁を作ろう
家庭で作ってみたいみそ汁の味を決めて、なべに入れる順に並べましょう。また、実の切り方も考えてみましょう。

学習内容を再構成したり、活用したりする

再構成・活用する

言語活動が中心。

表現力が育つ。

家庭科の学習目標の達成